

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	コミュニケーション論		
英文授業科目名	Human Communication Theory		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	久野 雅樹		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
hisano@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
人間におけるコミュニケーション活動の諸相について、認知科学、心理学、脳科学のアプローチを中心に、学際的な見地から検討します。そして、コミュニケーション活動の基礎を理解し、現代社会におけるコミュニケーションの実態を知り、コミュニケーションという観点についての問題意識を高めることを目標とします。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
メディアリテラシーを学んでおくとよい。また、一般教育科目の心理学A、心理学Bも参考になるだろう。

【教科書等】
特定の教科書は使用しない予定。参考書については随時紹介します。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

以下に、具体的なトピックの例を示す（実際の授業は修正を加えつつ進める）。

- ・イントロ：コミュニケーションの概念
- ・言語コミュニケーション（話し言葉，書き言葉）
- ・レトリックをめぐって
- ・コミュニケーションの障害とエラー
- ・コミュニケーションの発達
- ・非言語コミュニケーション
- ・ヒトの進化とコミュニケーション
- ・感覚 - 表現系とコミュニケーション
- ・コミュニケーションスタイル
- ・シンボル，記号，名前
- ・世界観の形成と認識の限界
- ・社会的動物としてのヒト
- ・異文化コミュニケーション，第二言語
- ・人工知能，ロボット技術とコミュニケーション
- ・ICTとコミュニケーション活動
- ・科学技術コミュニケーション
- ・まとめ：現代社会の諸問題とコミュニケーション

(b) 授業の進め方

毎回，ひとつのトピックを取り上げ，配布資料に基づいて講義を行う。基礎的な知識，研究の方法論を解説するとともに，日常的な人間の営みとも広く関連づけながら検討してゆく。毎回，授業に関して，考察，感想，疑問等をまとめてもらう。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

資料のすべてを授業中に説明することはできないので，各自，時間外に読んでください。また，学習内容を復習し，疑問点を調べ，他のソースと関連させつつ理解を深めてほしい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

平常点と学期末課題，それぞれほぼ60%，40%のウェイトで総合評価を行います。

(b) 評価基準

平常点は単に出席しているということではありません。どの程度しっかりと授業に取り組み自らの認識を深めたかを問題とします。原則として毎回提出物があります。

学期末課題はレポート（コミュニケーションの問題について考察する課題）で，内容と形式を総合して評価を行います。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日17:00-18:00のオフィスアワーには、原則として研究室にいます。来室する場合、なるべくメールでアポイントをとるようにしてください（必要があればこの時間以外にも対応します）。

【学生へのメッセージ】

コミュニケーションの問題は、身近に経験する様々な現象、現代的な社会現象と深く関わります。自分自身の問題として深く考えをめぐらせてください。

【その他】

今年度は集中講義で行います。初回からきちんと出席しましょう。